

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集

町田市議会

所属:志政クラブ

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-22

☎042-724-2127



双方向の情報交流

私の今期一般質問の趣旨

今度の議会の(自由なテーマを設定できる)一般質問項目は、数多く5問を準備しました。うち2問は、前の第252号の中で記事としました。「多摩都市モノレール町田方面延伸協議会」のあり方が、その設置の不透明さやちぐはぐな運営に見る行政のやる気を感じさせないやり方の問題と、「駅前公衆トイレの設置場所が適切なのか」という周辺住民方々から聞いた内容を取り上げました。

後の3問は、「町田市への外来者に対する配慮の向上」、「市民病院の医師は足りているのか」、「交通不便な場所にある投票所の分割」の問題を取り上げました。

これらの質問のやり取りの課題は、また次号で記しますが、まず、この3問の中で「町田市への外来者に対する配慮の向上」を課題とするのは、他都市の人が始めて(あるいは、久しぶりに)町田市を訪れた時、JRと小田急電鉄の連絡(案内)が非常に分りにくいことにあります。また、バスセンターとバスターミナルの利用区分や場所が全く異なっていることも、他都市からの来訪者には勘違いを起こさせるものです。バスターミナルは観光バスの出発場所に決められていますが、周辺都市の人たちはそれを始めから知っている人はわずかです。幾人もの人が、間違っバスセンターに集合するケースがあります。「誰にでも分りやすく表示する」考えで、案内板か横断幕を直ちに設置するのが、「おもてなし」の心ではないでしょうか。

投票場所の改善問題では、山坂の上にある投票所を、別に「坂の下」を追加すると投票率が著しく上昇する例を取り上げました。

子どもセンターの増設計画

町田市は児童や生徒の遊び場として、市内5ヶ所を目標に「子どもセンター」を設置しています。*ちなみに、相模原市などは一般的に児童館と言う名称であり、中規模以下の施設が多数の場所にあります。

その「子どもセンター」は、既に南・鶴川・堺地区に設置され、現在は忠生地区で建設進行中です。最後に町田地区の設置場所が懸案でした。当初、行政の見解が従来の方針と異なった場所を提起したことに対して、議会や地域では異論を出してきました。



本年2月に出された、「町田地区子どもセンター基本計画検討委員会」の中間報告では、結果的に行政が提起した予定地を変更して、旧庁舎の第二駐車場を建設適地と記述しており、議会の主張や地域の請願に沿ったものとなっています。さらに多面的な検討を加え、3月末に最終報告書が提出される見込みです。

もとより、この場所は駐車場であるために更地であり、私は「町田地区子どもセンター」の早期の着工・完成を期待しています。町田市の提起場所は、野外遊戯場としてのプレイパークとしての活用を望んでいます。

★マルチメディア双方向発信 吉田つとむ発見動画チャンネル

URL <http://j-expert.jp/> 発見動画チャンネル <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

編集 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ (市議会議員)

町田市議会・志政クラブ

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



携帯QRコード
でブログ閲覧



第 32 期 (4 月以降)
インターン生募集中

第 31 期研修生のレポート

2 月 17 日、インターンシップで研修を受けるにあたって、吉田つとむさんとの面接がありました。市民ホールでの面接でしたが、その後には私は予定が何もなかったため、私が工学系志望の学生ということも配慮して下さって、町田デザイン学校で展示されている町田市少年少女発明クラブの作品を見に行きました。たくさんの作品が展示されていて、中には商品化だってされるかもしれない作品があり、小中学生の発想の豊かさにただただ驚かされました。私は将来ものづくりに関わりたいと考えていますが、小学校のころから豊富な知識をもつボランティアの方々にサポートされながら、自分の考えを実際に形にすることができる発明クラブという環境がとても羨ましく感じます。発明クラブで思いつきを自由に形にしてきた子供たちが、将来ものづくりの方面に進まないとしても、クリエイティブな発想をもって社会で活躍していくのだろうと想像でき、とてもわくわくしました。そこで発明クラブのボランティアの方々に吉田さんの方から研修生として紹介して頂いたのですが、そこで私が珍しい理系の学生であるから、吉田さんにはない考え方で吉田さんをサポートして欲しいというお言葉を頂きました。そこで自分が理系の学生として求められることはなんだろう、自分ができることは何だろう、と考えるとまだまだ未熟で知識もなく、ほとんど何もできないということに気づかされました。もっと成長するためには大学での勉強に励み知識を増やしていくだけでは不十分であり、世の中の出来事に敏感

になって一つ一つのことに対して自分なりの意見を持つことが大事だと思います。



〈会場で記念写真を撮っていただきました〉

インターンシップ生としてはまだ一日目でしたが、このインターンシップの魅力の一つはいろいろな人とお話ができ、自分の考え方を改めることができることではないかと感じました。これからも研修を受けていき、多くのことを学んでいきたいです。

(東京大学教養学部一年 林 泉)

研修生の活動と募集要項

林 泉さんがこの春の研修生 (第 31 期生) として参加スタートしました。学生時代に社会体験をする研修です。平成 10 年 (1989 年) に吉田つとむの最初のインターン生が誕生し、これまでに 51 人のメンバーが研修生となりました。その多くは実社会で活躍中です。詳しくは、詳しくは裏面記載するHPアドレスの「インターン募集」をご覧ください。

★吉田つとむの連絡先 TEL 042-795-7361 FAX 042-795-2726

◇ どうぞ、町田市政や議会に関するご要望や、ご意見をお気軽にお寄せ下さい。

Mail : yoshidaben@gmail.com

mobile: yoshidaben@docomo.ne.jp